

# デモソフトによるアンテナ切り替えの設定 (ショートレンジタイプ)

新規作成 2006年7月28日

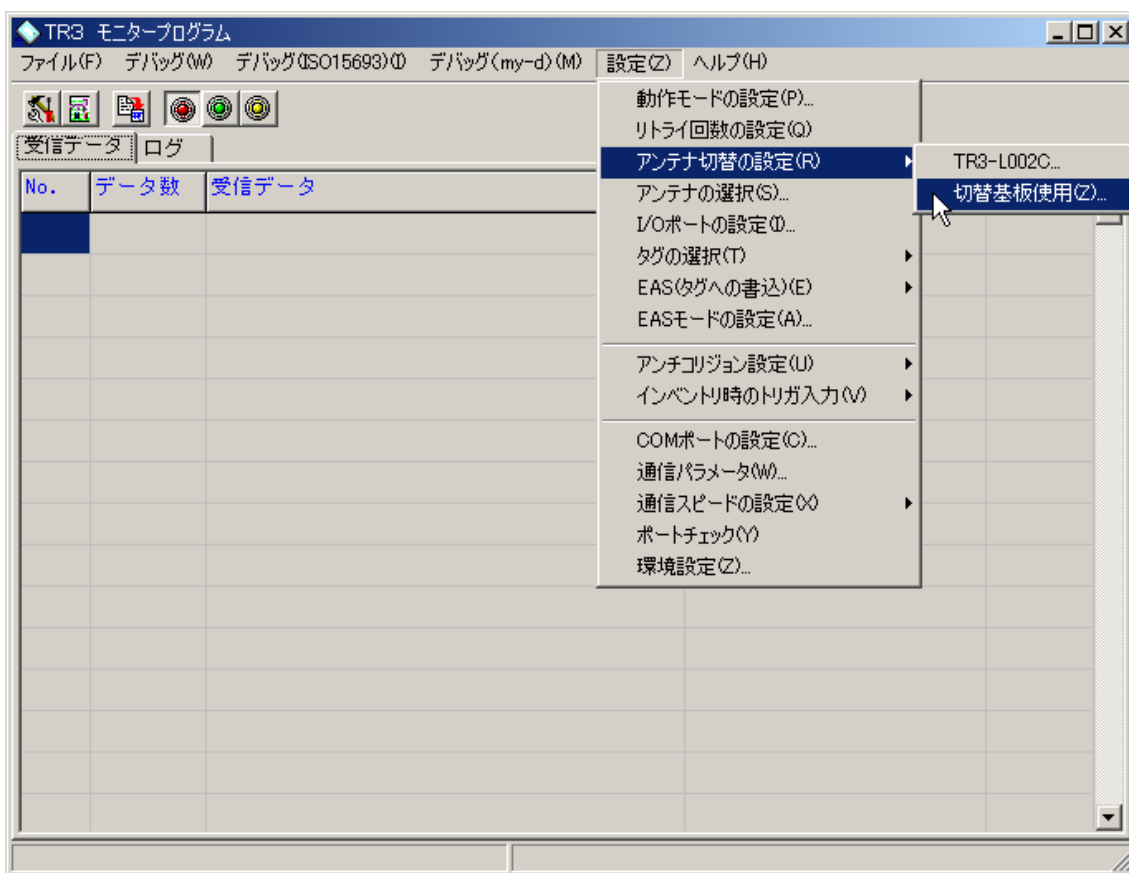
修正

Ver 1.00

タカヤ株式会社 RF事業推進部

<デモソフトによる設定について>

- [1] デモアプリケーション TR3Demo2.exe を用い、  
メニューの 『設定』 --> 『アンテナ切替の設定』 --> 『切替基板使用』 で設定  
ダイアログを表示し設定を行います。  
尚、ソフトのバージョンは、V1.33 以降をお使いください。  
(『ヘルプ』 にてご確認いただけます)



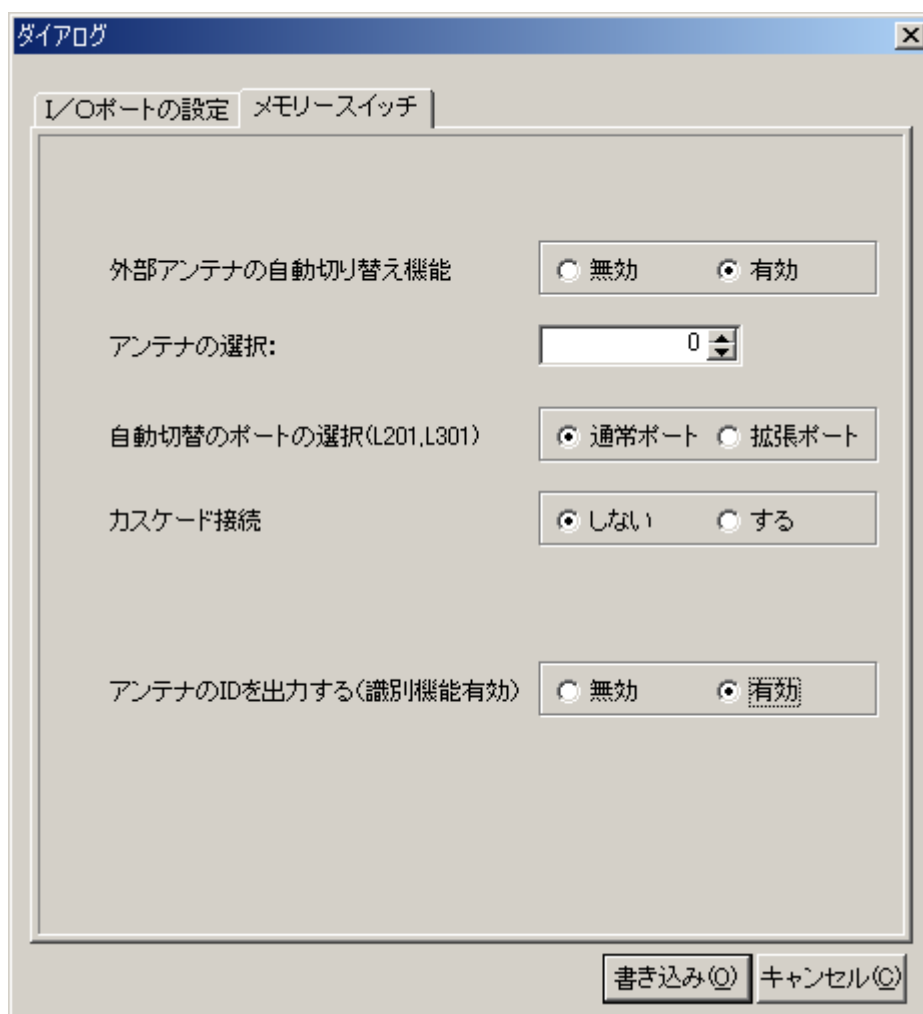
## [2] 8ch切り替えタイプについて

### (1)アンテナ切り替えの設定

メモリスイッチのタブが表示され、まずは各々必要な設定を行います。

- R/W による『自動切り替え機能』をご使用される場合は、『有効』をクリックしてください。
- 『アンテナの選択』の設定には『接続するアンテナ数-1』を入力してください。
- 『ポートの選択』は『通常ポート』に設定してください。
- 『カスケード接続』は『しない』を選択してください。
- アンテナIDの出力は必要に応じて設定してください。

有効設定により、受信データ画面内、入/出欄に読取アンテナIDが表示されます。  
入/出欄の表示設定については、[3]アンテナIDについて、をご参照ください。



## (2) I/Oポートのモードの設定

以下のダイアログ中で、I/Oポートの設定を行います。

- ・ I/Oポートはポート1～3を使用します。
- ・ 入出力ポートの設定は『出力ポート』に設定してください。
- ・ デフォルト値は『0』に設定してください。

		入/出力ポート	デフォルト値
I/Oポート1	<input type="radio"/> LED <input checked="" type="radio"/> ポート	<input type="radio"/> 入力 <input checked="" type="radio"/> 出力	<input checked="" type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 1
I/Oポート2	<input type="radio"/> トリガー <input checked="" type="radio"/> ポート	<input type="radio"/> 入力 <input checked="" type="radio"/> 出力	<input type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 1
I/Oポート3	<input type="radio"/> RS485 <input checked="" type="radio"/> ポート	<input type="radio"/> 入力 <input checked="" type="radio"/> 出力	<input checked="" type="radio"/> 0 <input type="radio"/> 1
I/Oポート4		<input checked="" type="radio"/> 入力 <input type="radio"/> 出力	<input type="radio"/> 0 <input checked="" type="radio"/> 1
I/Oポート5		<input checked="" type="radio"/> 入力 <input type="radio"/> 出力	<input type="radio"/> 0 <input checked="" type="radio"/> 1
I/Oポート6		<input checked="" type="radio"/> 入力 <input type="radio"/> 出力	<input type="radio"/> 0 <input checked="" type="radio"/> 1
I/Oポート7	<input checked="" type="radio"/> ブザー <input type="radio"/> ポート	<input checked="" type="radio"/> 入力 <input type="radio"/> 出力	<input type="radio"/> 0 <input checked="" type="radio"/> 1
I/Oポート8		<input checked="" type="radio"/> 入力 <input type="radio"/> 出力	<input type="radio"/> 0 <input checked="" type="radio"/> 1

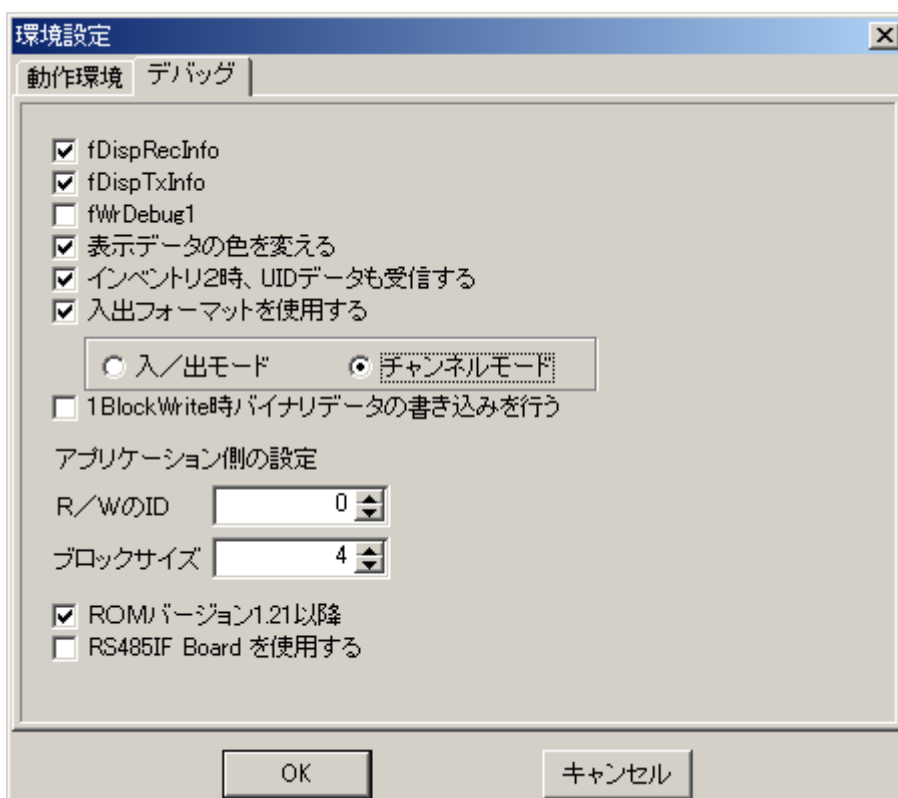
書き込み(O) キャンセル(O)

(3) 設定後、書き込みボタンを押す事で、R/W 内部の EEPROM に設定値が書き込まれます。

尚、設定を有効とするには、R/W に対して電源の再投入（電源の OFF-->ON）が必要ですのでご注意ください。

### [3] アンテナ ID について

アンテナ自動切換え有効時、R/W からのレスポンスにアンテナ ID(番号)が付加されます。  
この ID を受信データ画面内「入/出欄」に表示させるためには、以下の設定が必要になります。  
メニューの『設定』 --> 『環境設定』 --> 『デバッグ』において、  
『入出フォーマットを使用する』をチェック--> 『チャンネルモード』をクリックする。  
『OK』により、設定完了になります。



[4] 改訂履歴

Ver. No	日付	内容
1.00	2006年 7月 28日	新規発行

---

---

タカヤ株式会社 RF 事業推進部  
[URL]<http://www.takaya.co.jp/>  
[E-mail]rfid@takaya.co.jp

---

---

仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。